

芸術・音楽Ⅰ	1年次	2単位	選択必修
使用教科書 『MOUSA 1』（教育芸術社）	副教材等 なし		

1. 学習目標

幅広い音楽活動を通して基礎的な演奏技術や個性豊かな表現能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てる

2. 指導の重点

生涯学習の基本となる力を養うために、歌唱・器楽の演奏に必要な知識・技術の習得を目指す。  
音楽的視野を広げるため、多様な音楽を理解する心情を育てる。

3. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌う活動に関心を持ち、曲想に適した発声で歌うことができる。基本的な視唱・視奏力を身につけ、演奏することができる。音楽の特徴を理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その関わりを考え、表現活動に生かしている。	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱・演奏・創作活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は、次の3観点から行う			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	曲種による歌唱(器楽)表現の特徴について理解している。伴奏や他者との調和を意識して演奏する技能を身につけて表現している。音楽の多様性について理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その特徴や曲想との関わりを感じ受している。演奏・創作表現を創意工夫している。	学習に取り組む準備ができている。技能向上を目指し、課題に取り組んでいる。
以上の観点を踏まえ、授業中の活動内容の観察、音楽表現実技テスト、ワークシート等提出内容の確認・分析などから、評価します。			

5 学習計画

月	単元名	学習活動	時間	評価の観点	評価方法
4 5 6	音楽表現の基礎	曲想に応じた発声の方法を学び、ふさわしい発声で歌う。自身の声域を知り、移調によって表現を工夫する。楽譜の正しい読み方を身につけ、音楽表現に生かす。	20	a c	観察・聴取 ワークシート(分析)
7 9	音楽の調和	音楽の構造を理解しながら、伴奏や他者との調和を意識して演奏する。歌唱・器楽活動を通して、二声の音楽を理解する。ギターの基本奏法を学ぶ。反復記号を学習し、歌詞のない楽譜の演奏順序を理解する。	15	a b c	
	前期試験	<歌唱>日本の歌曲、日本のポップス各1曲 <器楽>ギター旋律奏、コード奏 <楽典>楽譜の基礎		a b c	演奏・筆記
10 11	音楽の多様性	諸外国の音楽・日本の伝統音楽について学び、箏に親しむ。鑑賞活動をとおして、オーケストラの楽器や世界各地の風土と音楽の関わりを知る。リズムや音階について学び、様々な音楽の特徴を理解する。音階の特徴を生かして、旋律を創作し、演奏する。	20	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
12 1 2	演奏表現の伸長	舞台芸術を中心に様々なジャンルの音楽について学び、歌唱表現を工夫する。鑑賞を通して舞台芸術の特徴、伴奏音楽の役割を理解する。	15	a b c	
	後期試験	<歌唱>歌曲・ミュージカル 校歌 <器楽>箏曲 キーボード奏 <楽典・鑑賞>楽譜の基礎、鑑賞の知識		a b c	演奏・筆記

計70時間(50分授業)

6 課題・提出物等

授業の進め方、課題・提出物など
教科書を中心に表現、鑑賞、創作活動をする。課題、ワークシートは丁寧に取り組み、必ず提出すること。

7 担当者からの一言

音楽Ⅰでは歌唱、器楽、鑑賞、創作など幅広く学びます。苦手な分野があっても積極的に取り組んで下さい。

